

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 6番 田 口 寿 宜

平 成 26年 12月 1日

午前 午後 10時 15分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 仙北市の未来を想う</p> <p>人口減少、地方交付税の段階的な減額等々、本市を取り巻く環境がより一層厳しさを増す現実に直面している。そうした中で、合併当初からの懸案となっている庁舎整備、様々な事情により多額の費用を要する事態となった角館総合病院建設等、私達は将来に不安を抱く課題を抱えている。これからの仙北市を背負って行くのは紛れもなく私達若い世代であり、子ども達にバトンを渡していく使命と責任がある。私達は負の遺産を子ども達に受け継がせる事を絶対にしてはならない。そのような観点から、次の事について伺う。</p> <p>(1) 市政報告で、平成 27 年度当初予算についての考え方と覚悟を伺った。「施策の選択と集中」という言葉をよく耳にするが、果たしてそのように進んでいるのか疑問に感じる。本市の将来を考えると、来年度は重要な年度になるものと考え。今こそ、地域資源を活かした定住人口及び交流人口対策を柱とした産業振興も選択肢の一つとして、集中して取り組むべきではないか。</p> <p>(2) 庁舎整備基本構想について、市内 10ヶ所で住民説明会が開催された。市政報告にもあるように、この事案のみならず様々な貴重な意見や提言が寄せられた。しかし、参加者が少なかった。これは何を物語っているのか…。正直、あきらめの雰囲気漂っているのではと感じる。様々な事情があるにせよ、今一度、合併から今日までをしっかりと振り返り、今何をすべきかを真剣に考える必要があるのではないか。</p> <p>(3) 市立角館総合病院建設について、既に進んでいる事案だが、本市の具体的な医療ビジョン・計画がしっかりと示されていない中で進んでいる感がある。このまま進んで本当に大丈夫なのか？2つの市立病院の経営は成り立って行くのか？もし成り立って行くと言うならば、その絶対的な根拠は？</p>		

2. 災害に対する備え

今年は、全国各地で様々な自然災害が発生している。災害は、いつ、どこで、どのように発生するのか予測がつかないものであり、日頃からの「備え」と「心構え」と共に、的確な情報を共有しなければならない。本市の「備え」について次の点を伺う。

- (1) 駒ヶ岳の観測体制について、様々な取り組みを行っているが、しっかりと観測をしているという安心感を与える上でも、特に地温測定について、山の専門家の方々を含め、地元の方々の協力を得ながら、常に観測をして行く体制を整えるべきではないか。
- (2) 様々な災害が想定される昨今、避難用具の備蓄について、避難場所に指定されている箇所、特に学校や公民館それぞれに備蓄をするべきではないか。
- (3) 本年制定された防災月間・週間の際に行われた「防災の集い」では、私も参加をさせていただき、貴重な経験をさせていただいた。来年度の防災月間・週間では、どのような事を考えているのかお伺いしたい。また、「共助」の部分が着目されている今、自主防災組織の果たす役割は非常に大きくなっているものと考えます。「共助」の意識を深め、自主防災組織同士の交流・連携を深める上で、自主防災組織サミットを開催してみてもどうか。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 8番 阿 部 則比古

平成 26年 12月 1日

午前・午後 9時 45分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 新市立角館病院の建設について</p> <p>市立角館病院の建設を含めた今後について、覆いきれない程の様々な不安が交錯する中で、門脇市長は、どのような認識を持って、今後の病院経営に望もうとしているのか、伺いたい。</p> <p>(1) 設計着手時の想定より、市民人口の減少率が加速している。今後20年あるいは30年先の市民人口数や年齢別構成比を、どのように推計し、外来及び入院患者数を想定しているのか、伺う。</p> <p>(2) これまでの市立角館病院の医術や接遇に対する患者の評判が悪く、驚くような悪評が市民に広く定着してしまった。例え、入れ物を変えたところで、ここまで評判を落としてしまった当事者であるところの全く新味のない同一スタッフでは、失地回復は無理、と推論するほうが道理と思うが、何か、奇策でもあるのか、伺いたい。</p> <p>(3) 新大曲組合病院が開業し、患者や市民の評判も、まずまずのようだ。相当数の仙北市民が通院したり、入院したりしているようだが、先行開業されたことにより、流出した患者が帰ってこない恐れがあるのではないか。</p> <p>(4) こんな状態と状況で、多額の累積赤字を抱えながら、当初計画の倍近い建設費をつぎ込んで、病院会計がもつはずがない。いずれ近い将来必ず破綻することは自明の理だ。どこか負けの込んだ博打に熱くなって、更に有り金を張り込む構図にも似ている。そうではないと言い切れるのか、ハッキリと伺っておきたい。</p> <p>(5) 当初、平成28年の10月竣工予定を、平成26年10月竣工に2年前倒しする旨の発表をしたが、途中で確たる合理的な説明もないままに1年延長し、平成27年10月に変更するとした。1年延長したこの期間に、建設業界の様相が激変してしまった。結果論ではあるが、何故、独善的とも思える理由で延期したのか、伺う。</p> <p>(6) 医療局が機能していない。むしろ医療局の存在によって、角館・田沢湖両病院の経営責任を初めとして、例えば、新病院の建設にまつわる様々な責任の所在や、業務遂行上の様々な責任の所在が曖昧になり、新病院建設の極めて大切な時期に、取り返しのつかない害を及ぼしているようにしか見えないが、何と考えているのか、伺う。</p>		

(7) こうした様々な理由から導き出される結論は、現状変更がいかに困難であっても、開業が遅れようとも、将来一層厳しくなってくるであろう市の財源を直撃するような愚策は無責任極まりない、としか言いようがない。万難を排しても、ここは規模縮小の再設計で、出直すべきではないか。

2. 統合庁舎の建設について

統合庁舎の建設について、理解に苦しむ行政手法で、庁舎の建設を進めようとしているが、どのような思案なのか伺う。

(1) まず手順として、議会の承諾を得てから住民説明会を行うべきではないのか。住民説明会やアンケート調査を実施したところで、議会に否決されたら、金をかけて、いたずらに混乱と地域的な対立を煽ることになり、市長ご自身が傷つくばかりか、物笑いのタネにされるのがオチではないのか、伺う。

(2) ご自身のお作りになった「みんなの庁舎検討委員会」の話し合いの経緯と結論はどうだったのか、お伺いしたい。

(3) 庁舎は利益を生まないもので、できるだけ金をかけないほうが良い、という方が多いが、職員の管理、事務作業や業務の分掌、職員の仕事への情熱、熱意を持たせ、職員の一体感の醸成、職員間の競争意識を高め奮起を促す等々、市行政の効率化と改革を進めるために、統合庁舎の建設は必須の条件と考える。更なる職員の大幅な削減が可能となり、時たたずして償却できる。市長の改革に対する気持ちが本物であるならば、40億円程度かけても全く心配ない。地元への大きな経済波及効果も期待される。合併特例債の使えるうちに、建設すべきと思うが、どう思うのか、伺う。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 11番 荒木田 俊 一

平成 26年 12月 1日

午前 午後 11時 19分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 各施策に対する住民意見の聴取と反映について。</p> <p>(2) スピード感をもった対応の中で、十分な検討がなされているのか。</p> <p>(3) 議案審議や委員会の中で約束した事の対応が出来ないままに進んでいる事案が見受けられるが、これで良いのか。</p> <p>2. 市立角館総合病院改築事業について</p> <p>(1) 増加する建築費に対する財源の確保について。</p> <p>(2) 償還する財政能力について。</p> <p>(3) マンパワーの確保とスキルアップやサービス向上について。</p> <p>(4) 入札方法について。</p> <p>3. 地域農業再生協議会で設定する基準収量は全市で1本なのか。</p> <p>(1) 中山間地が多い仙北市において、地域環境に応じた基準収量を設定していないのは、行政による農家いじめではないのか。 他県、他市においては、複数設定になっている例がある。直ちに対応できないのか。</p> <p>(2) 出来ないとすればその理由は。</p> <p>4. 子育て支援について。 第3子から誕生祝い金制度を制定することはできないか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 10番 小田嶋 忠

平成 26年 12月 1日

午前 午後 11時 33分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 角館駅東西自由通路整備事業について</p> <p>この事業は、25年度に基本設計、及びそれに関する調査費として2千万円の予算措置がなされているが、26年度に繰り越しされているものである。更には外町への観光客の誘導などにおいて、効果が期待できるとの説明を受けている。</p> <p>そこで伺う。</p> <p>(1) 角館駅の利便性の向上は具体的にどう図られるのか。</p> <p>(2) 駅前のにぎわいづくりの具体的な創出方法は何か。</p> <p>(3) 外町への観光客の誘導はどう進めるのか。具体的な対策はあるのか。</p> <p>(4) 駅通り、立町商店街のにぎわいの見通しはどうか。</p> <p>(5) 対象となる利用者をどう捉えているか。</p> <p>2. 地域公共交通（桧木内・西明寺地区市営バスの運行）について</p> <p>地域交通にとって大切なことは、地域のニーズに合った交通サービスを適切に提供すること、並びにそれを持続させることである、と思われる。現状は多くの人がマイカーに依存しているが、それらの人々も高齢化に伴い、今後マイカーを使えない時期が来るはずである。既に人間は「移動」を伴わずに、生活を維持することはできなくなっている。地域によっては、住み続けられなくなることも懸念される。したがって、今後必ず公共交通が確実に必要となると考える。</p> <p>そこで伺う。</p> <p>(1) 小規模需要への対応として、デマンド交通を選択し、現在それによって運行しているが、他に、負担も少なく利便性も高い支援の方法はなかったか。</p> <p>(2) 地域のニーズに合った交通サービスを適切に提供しているか。議会報告会などでは、利用者から「交通の足」としての切実な要望が出されている。</p> <p>(3) 地域公共交通政策の方針策定や実施体制に不備がなかったのか。</p>			

3. 伝建保存地区の整備と景観保全について

昭和51年に、5市町村7地区が、国の伝統的建造物群に選定されてから38年が経過している。その間、わが角館も地域住民等の理解と協力を得ながら、修理・修景・復原事業を年次計画で進められてきている。

昭和53年度の保存計画に示された弘道書院の復原計画が、ようやく昨年からの事業実施に向けての試掘が行われている。

まずそのことについて伺う。

- (1) 今後の発掘、復原の見通しは。(完成予定は)
- (2) 完成後の全体的な利活用、整備内容について、現在、構想していることがあったら伺いたい。

次に、武家町としての景観をどう捉えるかが大きな課題と考える。伝建選定当時は、観光という認識はなかったと記憶している。古いものを残し保存する、それによって、他に誇れる地域づくりをめざす、という認識であったと思う。ただ、現在は、それによって本物の武家町を見に来る観光客が、年間200万人におよび、観光化が進んでいると考える。

- (3) 伝建地内を人力車が走っている現状をどう感じているか。武家町の在り方と関連して考え方を伺いたい。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議員 青 柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 3番 熊 谷 一 夫

平成 26年 12月 1日

午前・午後 9時 40分 受 領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. アンケートを踏まえた高齢化対策</p> <p>秋田県の高齢化率は本年7月1日現在で30.7%と全国1位であり、仙北市は約35%と更に高くなっており、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりが喫緊の課題となっております。</p> <p>公明党秋田県本部では、本年6月に高齢者の置かれている実態を調査する「高齢者の生活や健康に関するアンケート」(65歳以上対象)を行い、全県下1,403名の方から回答を得ました。このアンケートは、『家族や健康』、『日常生活』、『生きがいくくりと助け合い』で構成され、全23問の設問に答えるものです。</p> <p>アンケートの結果、本市がこれから超高齢社会を迎えるにあたり、たくさんの課題や問題点が浮き彫りになりました。その中から、今回は、「認知症対策」と「公共施設のバリアフリー化対策」について伺います。</p> <p>(1) 認知症対策について</p> <p>① 本市における認知症と認定された患者の人数は？</p> <p>② 認知症対策への取り組みは？</p> <p>③ 認知症サポーターの認定者数と具体的な活動は？</p> <p>④ 認知症の早期発見対策として、訪問支援・地域への「出前講座」等の活動は行っているか？</p> <p>⑤ タッチパネル式コンピューターを用いた「もの忘れ相談プログラム」を導入し、早期発見と予防教室を組み合わせる考えはないか？(大仙市、横手市等の地域包括支援センターでH22年から取り組み)資料—1</p> <p>⑥ インターネットを活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」の導入を図る考えはないか？(全国140以上の自治体で導入)</p> <p>(2) 公共施設等のバリアフリー化について(人にやさしいまちづくりの一步は、高齢者・障がい者へのやさしい配慮からではないでしょうか?)</p> <p>① 公共施設等のバリアフリー化の現状</p> <p>各庁舎や公共施設で車いすを使用する方でも楽に利用できるように、駐車場スペースを確保・案内表示ができていますか？</p> <p>② 各庁舎のトイレには車いす使用の設備があるか？</p> <p>③ 段差、アプローチは緩やかなスロープになっているか？(2階、3階</p>			

へ車いすの方が用事がある時どうしていますか？

- ④ 視覚・聴覚・言語等の障害者への窓口対応は？
- ⑤ せめて各庁舎へのエレベーターの設置は考慮しなかったのか？
- ⑥ 高齢者、障害者等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）が施行されて（2006年）より8年間、税制上の特例措置や補助・融資制度があるが、これらを利活用し、行う考えはないか？

2. 若者の地方定住化戦略の推進による「地域おこし協力隊」で地域雇用創出を！

(1) 都市部の若者らを過疎地の自治体が募集し、地域活動に従事してもらう「地域おこし協力隊」制度が全国に広がっています。2013年度では、318自治体（4府県314市町村）で978名（総務省調べ）まで広がり、この6月には安倍首相が、この制度の隊員数を今後3年間で3,000人に増やす方針を打ち出している。定住状況については、総務省が昨年公表したアンケート調査で、約6割の隊員が任期後も活動していた市町村か近隣地域に定住している。（湯沢市では昨年2名、今年3名の計5名を受け入れ、積極的に地域に溶け込み、客観的な良い提言をしてくれているとの事）しかも、財源は、400万円まで特別交付税措置される）以上の事より、次の2点について伺う。

- ① 本市でも、来年度の当初予算に盛り込み、「地域おこし協力隊」の募集を図り定住の流れをつくる考えはないか？ 資料—2
- ② 山形県の村山市など、若い女性が農産物の生産や加工までを行う「山形ガールズ農場」の事例を見ても、定住支援のコーディネーターや生活上の相談に応じる「ワンストップ窓口」を設置してはどうか？

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 青柳 宗五郎 様

仙北市議会議員 13番 小林 幸悦

平成 26年 12月 1日

午前 午後 10時 57分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 100キロチャレンジマラソン大会について 100キロチャレンジマラソン大会は来年25回目の開催を予定しているが、それ以降については経費不足、ボランティア不足などの理由から、25回大会を最後の大会としたい旨を大会実行委員会から県の方にも伝えたとこ ろ、県からは引き続き実施するよう要請され、最終判断は、まだしていない ようだが、本市及び北秋田市、上小阿仁村と大会実行委員会で今後の対応等 の協議はしているのか。</p> <p>2. 浄化槽設置整備事業に市単独補助嵩上げの考えは (1) 27年度から、今まで市が進めてきた市設置型浄化槽事業が、個人設 置型に移行していく計画のようだが、受益者にとっては市設置型の分担 金に比べ、個人設置型の場合、負担額が多くなる。他の市では、市単独 補助嵩上げを行っているところもあるが、本市ではそのような計画を 考えているのか。 (2) 市設置型浄化槽は、設置後10年経過すれば、民間譲渡できるようだ が、本市の考えは。</p> <p>3. 住宅リフォーム促進事業の来年度実施見込みは 住宅リフォーム促進事業は、市・県の補助額を合わせると最大35万円の交 付が受けられることから、利用者のみならず各種工事店からも好評で、これ まで多くの方々がこの制度を利用してきたが、来年度の実施見込みはどうか。</p> <p>4. 地籍調査の推進を 現在角館地区の地籍調査が実施されているが、これまで実施してきた面積 程度で今後も進めていくとすれば、相当数の年月を要すると思われる。調査 面積を広げ、早期完成をめざし事業推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>5. AED設置個所のマップを作成し市の広報に掲載を (1) AEDの設置を望む声を聴くが、希望箇所全てに設置するには、AED 本体価格に加え、後年バッテリーやパーツの劣化等によるメンテナン ス費用も必要な事から、厳しいものと思われるが、設置個所(民間企業な どからも協力)のマップを作成し、市の広報に掲載することで市民に周 知してもらえば、万が一の備えになると思うがどうか。 (2) 現在の設置状況も伺いたい。</p>		
<p>上記のとおり通告します。</p>		

番 号 7

平成26年12月1日

仙北市議会議長 青柳宗五郎 様

仙北市議会議員 18番 稲田 修

平成26年12月1日

午前・午後 10時 13分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1. 門脇市長の重要施策を問う</p> <p>(1) 病院建設について</p> <p>(2) 誘致企業の推進について</p> <p>(3) 庁舎整備基本構想について</p> <p>2. 心の絆 受け継がれるか 100キロチャレンジマラソンについて</p>			
上記のとおり通告します。			

